

令和2年度における「第3次高浜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」の取組結果

1. 計画の概要

高浜市の事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、令和2年度に策定した「第3次高浜市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、省エネルギー対策・省資源対策等の環境配慮活動に取り組んでいます。なお、この計画における温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）とします。

令和2年度の取組結果は以下のとおりです。

項目	温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)			H30年度比 増減率 (%)	R6年度 目標
	基準年度 (H30年度)	R2年度	増減量		
合計（全体）	2,620,709	2,779,526	158,817	6.1	△11.4

2. 温室効果ガスの排出状況

1) 項目別取組結果

項目	温室効果ガス排出量 (kg-CO ₂)			H30年度比 増減率 (%)
	基準年度 (H30年度)	R2年度	増減量	
1 灯油	16,760	1,786	△14,974	△89.3
2 都市ガス	292,037	548,087	256,050	87.7
3 ガソリン	61,966	53,127	△8,839	△14.3
4 軽油	10,990	2,030	△8,960	△81.5
5 LPガス	11,981	3,090	△8,891	△74.2
6 電力	2,232,975	2,171,406	△61,569	△2.8

2) 施設別取組結果

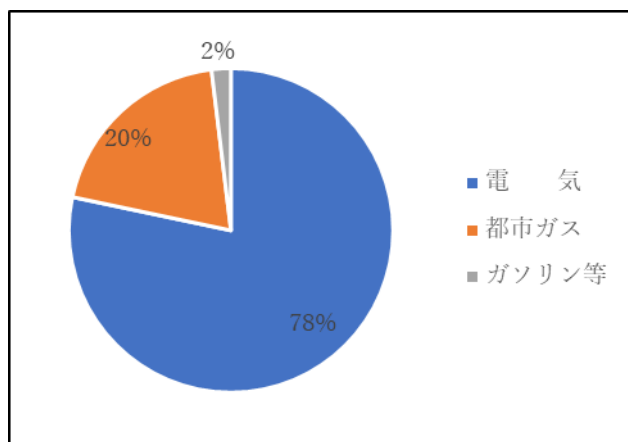
1	事務管理施設	414,479	402,129	△12,350	△3.0
2	教育施設	695,146	887,667	192,521	27.7
3	一般利用施設	473,973	522,235	48,262	10.2
4	防犯・防災施設	160,241	156,435	△3,806	△2.4
5	屋外管理施設	800,852	756,055	△44,797	△5.6
6	公用車	76,018	55,005	△21,013	△27.6

項目別では、都市ガスは平成30年度に比べて増加していますが、灯油、ガソリン、軽油、LPガス、電力については、平成30年度に比べて減少しています。

施設別では教育施設、一般利用施設については、平成30年度に比べて増加していますが、事務管理施設、防犯・防災施設、屋外管理施設、公用車については、平成30年度にくらべて減少しています。

3) 要因別温室効果ガスの排出割合

温室効果ガスの排出割合を見ると、電気が78%、都市ガスが20%、ガソリン等の使用で2%となっています。

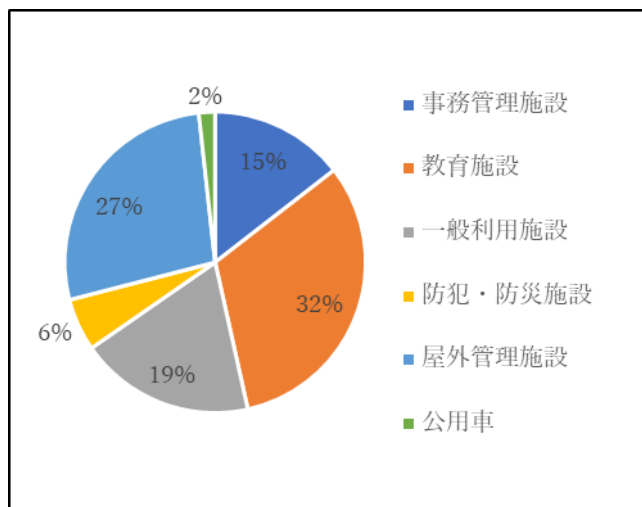


項目	二酸化炭素 排出量(kg-CO ₂)	割合
電気	2,171,406	78%
都市ガス	548,087	20%
ガソリン等	60,033	2%
合計	2,779,526	

〔図1：要因別排出量割合〕

4) 施設別温室効果ガス排出量割合

市有施設においては教育施設が全体の32%で最も多く、次いで屋外管理施設が27%、一般利用施設が19%、事務管理施設が15%、防犯・防災施設が6%となっています。

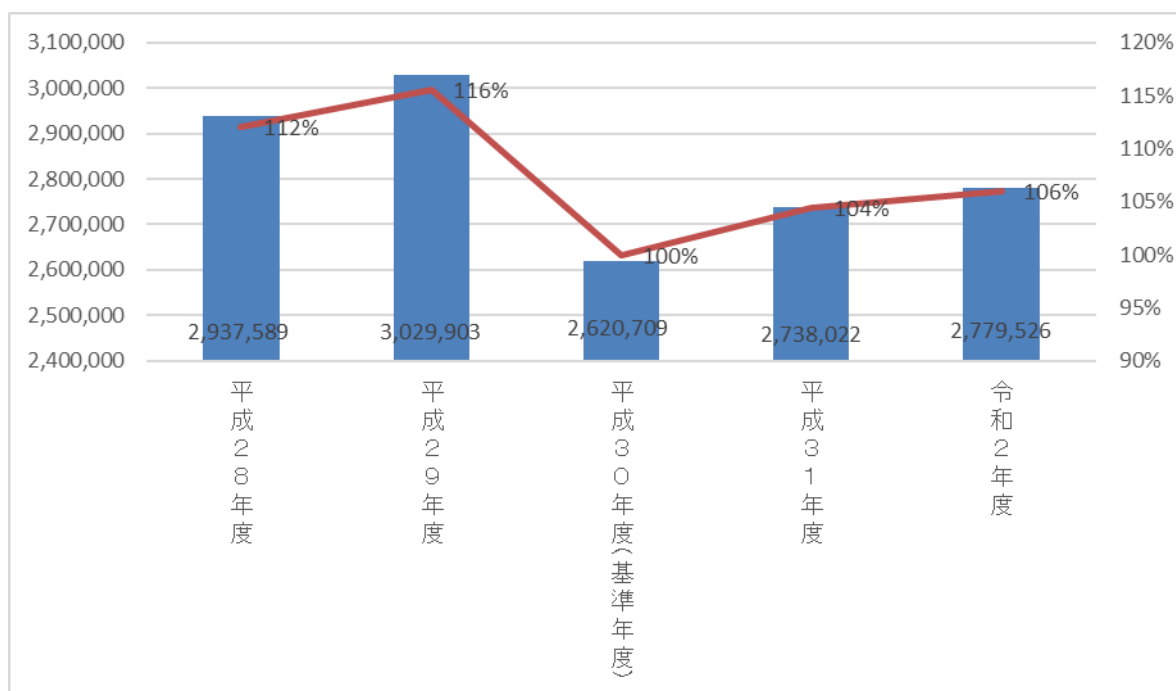


項目	二酸化炭素 排出量(kg-CO ₂)	割合
事務管理施設	402,129	15%
教育施設	887,667	32%
一般利用施設	522,235	19%
防犯・防災施設	156,435	6%
屋外管理施設	756,055	27%
公用車	55,005	2%
合計	2,779,526	

〔図2：施設別排出量割合〕

5) 二酸化炭素排出量の推移

平成30年度を基準とした二酸化炭素排出量2,620,709 kg-CO₂と比較し令和2年度は2,779,526 kg-CO₂となり、6.1%の増加となっています。



3 取組結果の状況

市の事務・事業及び対象施設における温室効果ガス（CO₂）の総排出量は2,779,526 kg-CO₂で、基準年度に比べ158,817 kg-CO₂、6.1%の増加となりました。事務管理施設、防犯・防災施設、屋外管理施設、公用車については、基準年より排出量が減少しているものの、教育施設、一般利用施設の増加により、総排出量を抑えることができなかったためです。特に小中学校の総排出量が大きく増えています。これは、小中学校に空調設備を導入したことが影響していると考えられます。

4 今後の取組み

今後、新型コロナウイルス感染症の影響により、電力の使用量の増加が考えられる（換気をしながらの空調運転、密を避けた分散勤務）中で、昼休み中の消灯、時間外での不必要箇所の消灯の心がけや、職員のエレベーターの使用を原則禁止とするなどして、市庁舎のCO₂排出量の削減を継続して取り組んでいきます。ガソリンの使用量については、公用車の買い替え時には、低燃費車やハイブリッド車を導入したり、使用時には急発進・急加速をせず、カーエアコンは適正に使用したり、出張の際は、公共交通機関の利用や公用車の相乗りに努めるなど更なる温室効果ガスの削減を推進していきます。目標を達成するため、職員のさらなる意識向上を図るとともに、各施設を利用する方々への啓発活動を推進し、取り組みを行っていきます。

〔参考〕 施設等の二酸化炭素排出量

		施設名	二酸化炭素排出量
施設	事務管理 施設	市役所本庁舎	132,579 kg-CO2
		いきいき広場	269,550 kg-CO2
	教育施設	小中学校	816,892 kg-CO2
		幼稚園・保育園	53,847 kg-CO2
		児童センター・児童クラブ	16,928 kg-CO2
	一般利用 施設	公民館・女性文化センター	77,598 kg-CO2
		体育センター	9,417 kg-CO2
		高浜エコハウス	15,283 kg-CO2
		美術館	217,495 kg-CO2
		図書館	57,610 kg-CO2
		ふれあいプラザ	38,094 kg-CO2
		老人憩いの家	22,439 kg-CO2
	その他の施設	84,299 kg-CO2	
	防犯・防 災施設	高浜市消防団 分団詰所	5,183 kg-CO2
		防犯灯・街路灯・防犯カメラ	151,252 kg-CO2
	屋外施設	都市公園・市立公園・児童遊園・ 子ども広場	37,189 kg-CO2
		グラウンド・多目的広場	42,381 kg-CO2
		ポケットパーク・遊歩道	991 kg-CO2
		配水場	573,948 kg-CO2
		服部配水機場	28,606 kg-CO2
		ポンプ施設	11,153 kg-CO2
		下水マンホールポンプ	57,315 kg-CO2
	その他の施設	4,472 kg-CO2	
施設計		2,724,521 kg-CO2	
公用車計（79台）		55,005 kg-CO2	
二酸化炭素排出量計		2,779,526 kg-CO2	